

令和6年度 第3回上郷地域会議 会議録

- 日 時 令和6年6月18日（火） 午後7時から8時30分まで
- 場 所 上郷交流館 2階 ふれあいホール
- 出席者 委 員 : 15名
事務局（上郷支所）：下川支所長、小船担当長、伊藤主査

■次 第

- 「豊田市民の誓い」唱和
- 1 会長あいさつ
- 2 令和6年度第2回上郷地域会議の会議録の確認について
- 3 協議事項
 - （1）地域の声の集約方法の検討
- 4 その他
 - （1）上郷地域バスについて
 - （2）次回の地域会議について

■議事（要約）

- 1 会長あいさつ 省略
- 2 令和6年度第2回上郷地域会議の会議録の確認について

- ・第2回地域会議の会議録の内容確認を行い、了承を得た。
- ・第2回地域会議の委員からの第9次豊田市総合計画（以下「9総」）と都市計画に関する質問に対して、口頭で回答があった。

【意見・質問】

- ・（委員）9総と都市計画はリンクしているといいながら、9総で上郷地域を都市拠点と位置付けて、都市計画では市街化区域・市街化調整区域を見直す気配が感じられない。そのことについてどう考えているかをお聞きしたい。事務局の回答の中に、都市計画提案制度という話があったため、上郷地域を永続的に発展させていくためには、どういった施策や土地利用計画が必要なのかを議論していきたい。その際に従来の枠組みとして、市街化区域へ編入することで都市計画税が発生すると説明があったが、それはない。それらを踏まえて、地域が発展していくよう都市計画について議論していかないと何も変わっていかないような気がする。
- （委員）先ほどの事務局からの回答は本日の資料のどこかに記載されているか。
- （事務局）資料には記載していない。あくまでも口頭。
- （委員）意味が分からない部分があったため、文書にしてほしい。非常に重要なことで、私たちはそれを追求したい、突き止めていきたいという気持ちがあるため、ただ口頭で回答だけではなく、文書として残してほしい。
- （委員）会議録を豊田市ホームページに掲載する際には、先ほどの意見を踏まえて、修正したものを掲載していただきたい。
- （事務局）回答はあくまでも今回行っているため、本日内容確認をしていただいている

第2回の会議録には掲載しない。今回、資料として残していない意図は、都市計画を含めたまちづくりに関することを今後地域会議の中で話し合っていくことが現状では決まっていないため、あくまでも口頭での回答に留めさせてもらった。

(委員) 基本的にはこの会議の中で出てくる話は全て理解した形で進めていきたいので、全て文書化して提示していただきたい。

(事務局) 了解した。

3 協議事項

(1) 地域の声の集約方法の検討

- ・ 次の3つの進め方のうちのいずれの方法が良いか、委員全員の意見を確認した。
 - ① 新たにアンケート等で広く地域の課題について聞き、回答内容から関心度が高い分野や取り組むべき分野を選定する。
 - ② 既存のアンケート結果から地域会議内で検討分野を絞り(複数可)、必要に応じてその分野の関係者・団体に聞き取り又はアンケートを実施する。
 - ③ その他(上の①・②以外の進め方があれば意見を発表)。
- ・ 意見を確認した結果、委員15名中13名が②の進め方が良いと答え、残り2名が①が良いと答えた。①が良いと答えた委員の意見を再確認した上で、②で進めていくことに決定した。
- ・ ②の進め方に決まったことに伴い、検討分野を何にするか、なぜその分野を選定したのか、その分野について市や市民等に聞きたいことについて意見出しを行った。

<3つの進め方のうち、①が良いと回答された委員の主な意見>

- ・ 令和4年12月に実施した上郷地域会議アンケートと同内容のアンケートを再度送付し、この1年半でどういった変化があるか確認し課題を選定していきたいため。
- ・ 資料集に掲載されている過去のアンケート結果では、どこに課題があるかが分かりづらいため。

<3つの進め方のうち、②が良いと回答された委員の主な意見>

- ・ 提言していくにはスケジュール的に時間がなく、最初にアンケートを取ってテーマを選定している余裕がないため。ただし、進めていく上で問題が起きた場合には臨機応変に対応する必要がある。
- ・ 既にあるアンケート結果を生かして効率的に進めた方が良いため。
- ・ アンケートの実施に伴う郵送代の費用を抑えて、なるべくお金を掛けずに実施した方が良いため。
- ・ コロナ禍のこの3年で地域の意見が変わっている可能性はあるが、前回の上郷地域会議アンケートが1年半前に実施されたものであり、同じ質問をしても大きな変化は見られないと感じたため。
- ・ 上郷地域会議アンケートの回答の中で、全体的に網羅された意見が出ており、また、回答内容が自分たちの感覚と大きなずれがなかったことため。

<検討分野に関する意見出し>

- ・検討分野は、①健康・まちづくり・地域交流、②防犯、③交通安全を選んだ。令和4年度上郷地域会議アンケートの自由記載の回答内容を確認し、共通項の多いものをピックアップした。①については、「子どもの遊べる遊具が少ない」、「大人が使える健康器具が設置されると地域交流が図れる」といった公園を通じた人との交流、健康維持の意見が多々見受けられた。例えば、柳川瀬公園を健康器具ありの周回コース付きの老若男女が集うことのできる公園にしてはどうか。②については、「街灯がなく暗くて危険」、「暗い道で不審者が出ている」というコメントがあったため、共働きの視点から地域全体で危険な箇所を調査して、行政としては防犯カメラを設置するという役割で進めていけるといい。③は、「生活道路をスピードを出して走る車が多くて危険」、「止まれを無視する車が多くて危険」、というような意見が多々あったため選定したが、これは各自治区の問題が多く、全体論で協議することは難しいと思うが、アンケート等で地域から意見を募って、全体的な課題があれば、それを今回のテーマにしてもいいのではないかと考えた。

【協議事項における意見・質問】

- ・（委員）前回と同内容のアンケートを取るのに必要な期間はどれくらいか。
（事務局）発送から集計までに約3か月は必要となる。また、アンケート内容も再度検討するということになればプラスで協議時間が必要となる。
- ・（委員）令和4年度地域会議アンケートは、何の目的で実施したのか。また、アンケートの回答に対して返事はしたのか。
（事務局）アンケートの目的は、当時実施していた「上郷に住むと健康になる事業」の評価のために実施したが、併せて、今後の地域会議で検討する課題についての情報収集のためのアンケート項目を設けた。回答に対しての返事はしていない。
- ・（委員）資料集には令和2年度と令和4年度のアンケート結果が掲載されているが、結果の提示の仕方が違うため、提示の仕方を統一してそれを見比べれば、経年変化が確認できるのではないかと。
（事務局）令和2年度の地域自治システム評価アンケートは、地域自治システムの制度を評価するためのアンケートで、令和4年度の上郷地域会議アンケートは健康事業の評価をするためのアンケートとなり、それぞれ聞き取る目的が異なり、目的に沿った聞き方になっているため、回答内容も異なっている。経年変化については、本日は配布していないが、資料集の表紙で紹介している「市民意識調査」は、全市的に概ね2年に一度実施している。全市的に実施するが、地区ごとのデータを抽出することも可能であるため、変化の確認はできる。
また、資料集については、本日配布している資料だけですべてを判断して、ということではなく、判断材料の一つとして活用していただきたい。アンケートの目的により、質問の仕方も変わってくるため、あくまでも協議の進め方を判断する上での材料の一つとして見ていただきたい。
- ・（委員）自分は地域会議委員3年目であり、前期も提言に向けて話し合ってきたが、1

か月に一度の話し合いでは、協議時間が足りず、あっという間に次の会議がきてしまう。ただ、このような重要なことを、この場の少人数の委員で決めていいのだろうかということは何度も考えながら2年間話し合ってきた。もう少ししっかり勉強したかったという反省もあった。前期の柳川瀬体育館の建替えの件も踏まえて、話し合う内容が決まったら、アドバイスをいただきながら、話がずれていった時には少し立ち止まってくださいというような形で進めていけると、充実した時間が作れるのではないかと。ここのメンバーで上郷に住むとこんなに良いことがあるんだという自慢ができることを見つけていきたい。

- ・（委員）協議の進め方は②で良いが、先日行われた9総の中間報告会で施策体系（案）が出されていたため、これを切り口として、既存のアンケートからこれから何をやっていかなければいけないかということを経験した方が良く考える。
- ・（委員）四郷はもともと市街化調整区域だったはずだが、最近開発され、市街化区域に変更されたが、あれはどういう形で変更されたのか、

（事務局）詳細は把握していないが、土地区画整理組合による区画整理により変更された。

（委員）用途区域は原則変えられないと認識していたが、将来的なことを考えると何もしなくなってしまう。根強く交渉すれば用途区域も変えられるかもということを経験して地域会議で提案していけば変えられるのではないかと。

- ・（委員）地域会議からの提言テーマは何個でもいいのか。

（事務局）何個でも可能。

（委員）内容次第ではないか。薄い内容で多数の提言をするのか、濃い内容で1つの提言をするかというところではないか。

（委員）提言できるという権利があるなら、ぜひ活用していきたい。前期の提言も素晴らしいものであったと思う。ちなみに、前期の提言に基づき、上郷地区区長会で神谷前上郷地域会議会長から依頼があった件について、その後工事の予定は決まったか。

（事務局）県道239号線に係る街路樹の伐採等に関して、その後の進捗は分からない。

（委員）様々な分野の課題があると思うが、これを全て提言するわけではなく、分野を絞って提言していきたい。ここのメンバーは、地域の代表であるため、このメンバーで内容を詰めていきたい。分野の選定については、アンケートの結果の上位から選ぶのか、別の選び方をするのか、皆さんで検討していき、その中で、地域の意見を聞きたいとなれば、その際はアンケートを取ればよい。それに加えて、市街化調整区域が市街化区域になるのであれば、その両面で提案していけたらと考える。

（事務局）提言は何個していただいてもよいが、先程委員からも意見があったように、1つ絞って深く協議をしていくのか、薄い内容で多く提言するのかということになる。前期は、交通安全と公園・施設の2つの部会で協議を進めていたが、それぞれで話し合ったことを全体で共有した上で協議することになるため、話し合う分野が増えれば増えるほど、共有、協議に要する時間が増える。場合によっては、通常の会議に加えて臨時の部会も必要になる。提言については、前回会議でお伝えしたが、提言をしていく上で「共働」の視点を取り

入れていただかなければならない。都市計画についても、意見・要望としてそういった声があるかと思うが、共働の視点に基づき、地域の役割は何か、ということ踏まえた議論をお願いしたい。

- ・（委員）提案であるが、9 総の中間報告会について、地域会議の場でもう一度勉強会をやっただけでないか。そうすると、どういう視点で、豊田市が未来を考えているかが分かるため、それに合わせて、上郷地域としてはどうしていくのか、ということ前向きに考えていった方が良いのではないか。9 総が考えの中で上郷に欠けているものは何かを考える入り口にはなるかと思うため、もし、委員の賛同が得られればぜひお願いしたい。

（事務局）中間報告会は豊田市の公式 Y o u T u b e で録画を配信している。9 総の概要ということであれば、Y o u T u b e 内で分かりやすい解説があるため、まずはそれを確認してもらった上で、それでも分からないことがあれば、事務局に御意見をいただくという形で、まずはお願いしたい。

4 その他

（１）上郷地域バスについて

（２）次回の地域会議日程について

◆次回会議開催

◇令和 6 年度 第 4 回地域会議

と き：令和 6 年 7 月 1 6 日（火） 午後 7 時から

ところ：上郷交流館 2 階 ふれあいホール